

石川県公報

令和3年7月6日(火曜日)

号 外

(第48号)

目 次

○石川県流域下水道事業の業務状況の公表(都市計画課) 1

○石川県水道用水供給事業の業務状況の公表(水道企業課) 4

公 告

石川県流域下水道事業の業務状況の公表

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第40条の2第1項の規定により、石川県流域下水道事業の令和2年10月1日から令和3年3月31日まで(以下「下半期」という。)の業務の状況を次のとおり公表する。

令和3年7月6日

石川県知事 谷 本 正 憲

1 事業の概要

昭和58年度より流域下水道事業に着手し、現在、犀川左岸流域下水道(犀川左岸処理区)、加賀沿岸流域下水道(梯川処理区)及び加賀沿岸流域下水道(大聖寺川処理区)で事業を実施しています。

このうち、梯川処理区は平成元年4月に、犀川左岸処理区は平成6年12月、大聖寺川処理区は平成7年12月に供用開始しています。

●事業の概要

区 分	加賀沿岸流域下水道 (梯川処理区)	加賀沿岸流域下水道 (大聖寺川処理区)	犀川左岸流域下水道 (犀川左岸処理区)
着 手 年 度	昭和58年度	昭和63年度	昭和62年度
供用開始年月	平成元年4月	平成7年12月	平成6年12月
管 渠 延 長	34km	17km	23km
処 理 場	翠ヶ丘浄化センター	大聖寺川浄化センター	犀川左岸浄化センター
ポ ン プ 場	6ヶ所	2ヶ所	—
水 処 理 方 式	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法
汚泥処理方式	濃縮→消化→脱水→乾燥	濃縮→消化→脱水	濃縮→消化→脱水
処 理 能 力	43,000m ³ /日	18,400m ³ /日	53,300m ³ /日
関 係 市	小松市、能美市、白山市	加賀市	金沢市、白山市、野々市市

(注) 管渠延長及び処理能力は、令和3年4月1日現在です。

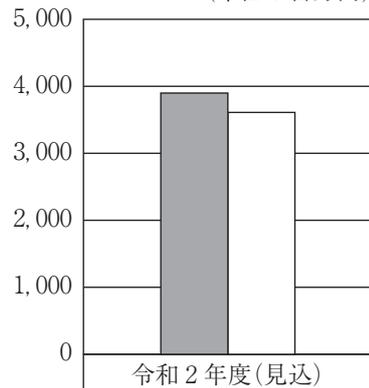
●年度別処理水量

(単位：m³)

年度	加賀沿岸流域下水道 (梯川処理区)	加賀沿岸流域下水道 (大聖寺川処理区)	犀川左岸流域下水道 (犀川左岸処理区)	合 計
平成28	8,265,017	2,919,903	13,798,191	24,983,111
平成29	8,743,672	3,062,741	14,057,719	25,864,132
平成30	8,625,251	3,036,834	13,815,834	25,477,919
令和元	8,347,112	2,916,874	13,580,720	24,844,706
令和2	8,916,161	2,999,691	14,345,165	26,261,017

●令和2年度の収益的収支

(単位：百万円)

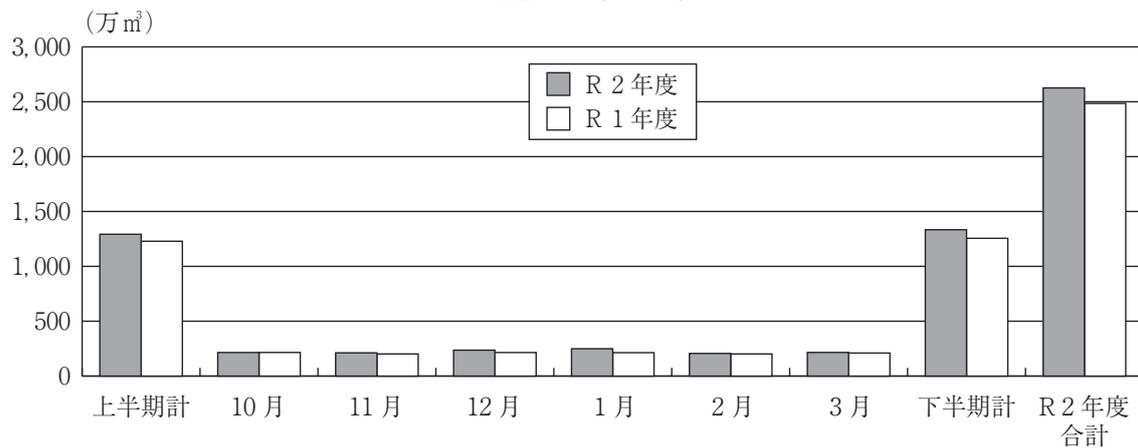


令和2年度(見込)	
■流域下水道事業収益	3,899
□流域下水道事業費用	3,610
収 支 差	289

2 下半期における業務状況

下半期における実績処理水量は、1,334万立方メートルとなりました。

実績処理水量(下半期)



(単位：m³)

区 分	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合 計
R 2 年度	12,924,957	2,148,360	2,120,633	2,362,077	2,491,467	2,060,573	2,152,950	13,336,060	26,261,017
R 1 年度	12,287,590	2,151,927	2,014,034	2,145,141	2,132,530	2,014,213	2,099,271	12,557,116	24,844,706

3 下半期における予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	科 目	予 算 額 A	下 半 期 執 行 額	累 計 B	執 行 率 B / A × 100
収 入	流域下水道事業収益	4,055,745	3,110,692	4,034,221	99.5%
	営 業 収 益	1,701,643	850,822	1,701,644	100.0%
	営 業 外 収 益	2,354,102	2,259,870	2,332,577	99.1%
支 出	流域下水道事業費用	3,799,080	3,109,225	3,704,347	97.5%
	営 業 費 用	3,518,422	3,006,011	3,461,477	98.4%
	営 業 外 費 用	194,457	103,214	156,670	80.6%
	特 別 損 失	86,201	0	86,200	100.0%

収入の主なものは、関係市からの維持管理負担金です。

支出の主なものは、指定管理委託料や減価償却費です。

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	科 目	予 算 額 A	下 半 期 執 行 額	累 計 B	執 行 率 B/A×100
収 入	資 本 的 収 入	(1,722,352)	(1,721,688)	(1,722,352)	(100.0%)
		1,863,866	422,042	422,042	22.6%
	国 庫 補 助 金	(1,054,723)	(1,054,723)	(1,054,723)	(100.0%)
		1,159,796	222,080	222,080	19.1%
	建 設 負 担 金	(332,965)	(332,965)	(332,965)	(100.0%)
		341,497	90,857	90,857	26.6%
企 業 債	(334,000)	(334,000)	(334,000)	(100.0%)	
	361,000	108,000	108,000	29.9%	
他 会 計 補 助 金	(664)	(0)	(664)	(100.0%)	
	1,573	1,105	1,105	70.2%	
支 出	資 本 的 支 出	(1,722,353)	(1,641,891)	(1,722,353)	(100.0%)
		2,498,319	719,570	1,055,753	42.3%
	建 設 改 良 費	(1,722,353)	(1,641,891)	(1,722,353)	(100.0%)
		1,888,155	412,402	445,590	23.6%
企 業 債 償 還 金	610,164	307,168	610,163	100.0%	

() は、令和元年度からの繰越予算に係るもので、外数です。

収入の主なものは、国交付金、関係市からの建設負担金及び令和元年度及び令和2年度同意(許可)債の受入れです。

支出の主なものは、設備の更新費及び企業債の元金償還分です。

4 資産、負債及び企業債の状況

下半期における資産、負債及び企業債の増減は、次のとおりです。

(1) 資 産

(単位：千円)

区 分	年度当初現在高	9 月 末 現 在 高 (A)	下 半 期		3 月 末 現 在 高 (A) + (B) - (C)
			増 加 額 (B)	減 少 額 (C)	
固 定 資 産	45,798,612	45,902,712	4,139,437	4,263,071	45,779,078
流 動 資 産	750,144	1,057,329	5,027,267	4,350,132	1,734,464
計	46,548,756	46,960,041	9,166,704	8,613,203	47,513,542

固定資産の増加額は、設備の更新費に係るものです。

固定資産の減少額の主なものは、減価償却による資産減耗分です。

流動資産の増減額の主なものは、預金、未収金及び前払金です。

(2) 負 債

(単位：千円)

区 分	年度当初現在高	9 月 末 現 在 高 (A)	下 半 期		3 月 末 現 在 高 (A) + (B) - (C)
			増 加 額 (B)	減 少 額 (C)	
固 定 負 債	6,166,209	6,212,785	486,507	601,499	6,097,793
流 動 負 債	952,674	1,032,801	3,054,480	2,201,416	1,885,865
繰 延 収 益	31,868,737	31,869,401	1,816,000	1,900,586	31,784,815
計	38,987,620	39,114,987	5,356,987	4,703,501	39,768,473

固定負債の増加額の主なものは、企業債の借入によるものです。

固定負債の減少額の主なものは、令和3年度償還予定企業債を流動負債に振り替えたものです。

流動負債の増加額の主なものは、一時借入金及び未払金です。

流動負債の減少額の主なものは、企業債の定期償還分及び未払金です。

うち企業債

(単位：千円)

借入先	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下半期		3月末現在高 (A)+(B)-(C)
			増加額(B)	減少額(C)	
財務省	2,901,794	2,756,210	30,000	147,450	2,638,760
地方公共団体金融機構	3,711,218	3,570,308	255,000	142,844	3,682,464
北國銀行	156,500	140,000	157,000	16,875	280,125
計	6,769,512	6,466,518	442,000	307,169	6,601,349

増加額は、令和元年度及び令和2年度同意(許可)債受入分です。

減少額は、定期償還分です。

5 令和3年度予算の概要及び事業の経営方針

(1) 予算の概要

ア 収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入		支 出	
科 目	予 定 額	科 目	予 定 額
流域下水道事業収益	3,807,044	流域下水道事業費用	3,474,682
営業収益	1,729,451	営業費用	3,295,891
営業外収益	2,077,593	営業外費用	178,791

イ 資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入		支 出	
科 目	予 定 額	科 目	予 定 額
資本的収入	1,369,200	資本的支出	1,984,152
企業債	314,000	建設改良費	1,389,747
国庫補助金	802,000	企業債償還金	594,405
建設負担金	251,000		
他会計補助金	2,200		

金額は、消費税及び地方消費税を含んだ額となっています。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額614,952千円は、過年度分損益勘定留保資金218,504千円、当年度分損益勘定留保資金354,066千円、繰越利益剰余金11,968千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額30,414千円で補てんするものとします。

(2) 令和3年度事業の経営方針

ア 流域関連市

金沢市ほか5市

イ 一日平均処理水量

85,025立方メートル

ウ 年間総処理水量

31,034,000立方メートル

エ 維持管理負担金単価

加賀沿岸流域下水道(梯川処理区) 57.1円(1立方メートル当たり)

加賀沿岸流域下水道(大聖寺川処理区) 91.0円(1立方メートル当たり)

犀川左岸流域下水道 45.0円(1立方メートル当たり)

石川県水道用水供給事業の業務状況の公表

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第40条の2第1項の規定により、石川県水道用水供給事業の令和2年10月1日から令和3年3月31日まで(以下「下半期」という。)の業務の状況を次のとおり公表する。

令和3年7月6日

石川県知事 谷 本 正 憲

1 事業の概要

水道用水供給事業は、手取川ダムに一日最大440,000立方メートルの給水が可能な水源を確保するとともに、現在、一日最大244,000立方メートルを給水することができる施設を持ち、加賀市から七尾市に至る9市4町を対象に水道用水を供給しています。

また、県民生活の安全・安心を確保するため、送水管の二系統化事業を推進しています。

今後とも、さらなる諸経費の節減や、二系統化事業の効率的な実施など、経営の健全化に努力していきたいと考えています。

●事業の概要

項 目	内 容	項 目	内 容
事 業 名	手取川広域水道建設事業	給 水 区 域 (9 市 4 町)	金沢市、七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、津幡町、内灘町、宝達志水町及び中能登町
水 源	手取川水系手取川ダム		
取 水 地 点	白山市中島町地内		
浄 水 地 点	白山市白山町地内		
給水開始年月日	昭和55年7月1日		
給 水 能 力 (1 日 当 た り)	【440,000m ³ 】 244,000m ³	事 業 年 度	昭和48年度～

(注)【 】は、事業の最終目標計画水量です。

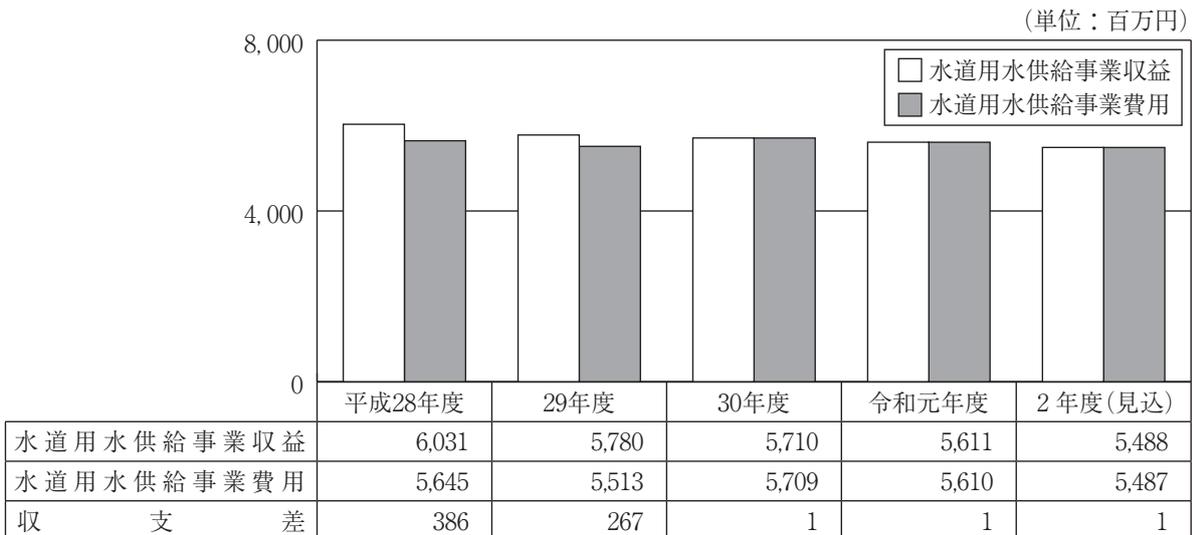
●主な施設

施設区分	構 造 形 式 等
貯水施設	手取川ダム (ロックフィルダム)
取水施設	取水口 沈砂池 取水ポンプ850kW 4台
導水施設	管路延長1,081m 調圧水槽
浄水施設	着水井 薬品沈でん池 急速ろ過池 管理本館ほか
送水施設	延長192km 調整池3池 水管橋38橋 ポンプ場1ヶ所

●年度別給水量

年度	給 水 量 (m ³)
平成28	56,867,524
29	53,889,692
30	53,538,500
令和元	53,509,255
2	53,557,665

●過去5箇年の収益的収支決算

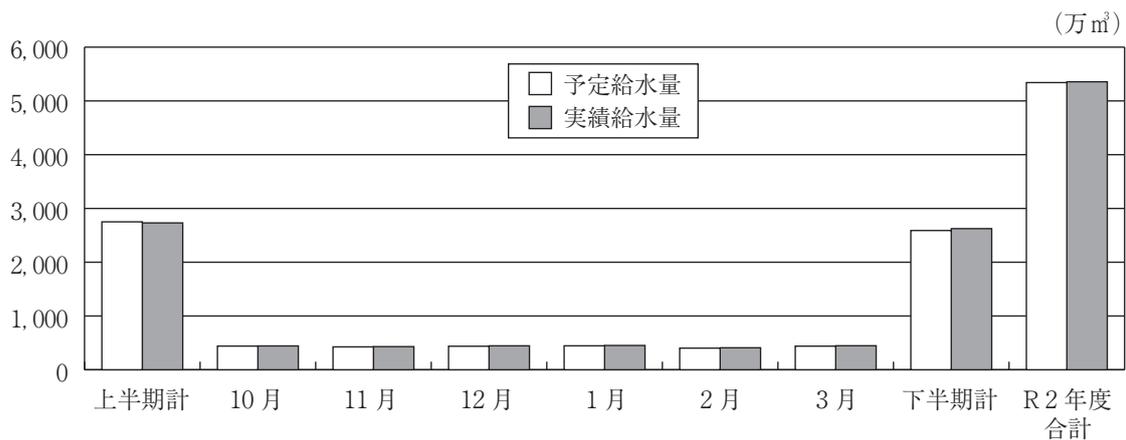


2 下半期における業務状況

給水状況は、予定給水量2,590万立方メートルに対し、実績給水量は、2,625万立方メートルと101.4パーセントの達成率となりました。

今後とも、受水市町の協力を得て安定した給水を行いたいと考えています。

給水量の状況(下半期)



(単位：m³)

区分	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計
予定給水量	27,508,736	4,402,676	4,254,580	4,375,056	4,451,752	4,021,966	4,390,574	25,896,604	53,405,340
実績給水量	27,310,140	4,431,267	4,298,601	4,450,657	4,516,542	4,086,295	4,464,163	26,247,525	53,557,665
達成率	99.3%	100.6%	101.0%	101.7%	101.5%	101.6%	101.7%	101.4%	100.3%

3 下半期における予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

区分	科目	予算額A	下半期執行額	累計B	執行率B/A
収入	水道用水供給事業収益	6,057,548	3,039,672	6,018,205	99.4%
	営業収益	5,869,783	2,854,220	5,832,444	99.4%
	営業外収益	187,765	185,452	185,761	98.9%
支出	水道用水供給事業費用	5,814,078	5,302,765	5,806,973	99.9%
	営業費用	5,670,375	5,184,176	5,663,271	99.9%
	営業外費用	143,703	118,589	143,702	100.0%

収入の主なものは、給水料金です。

支出の主なものは、人件費、動力費、修繕費、委託料、減価償却費及び企業債支払利息です。

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

区分	科目	予算額A	下半期執行額	累計B	執行率B/A
収入	資本的収入	(621,000)	(621,000)	(621,000)	(100.0%)
		1,714,000	1,103,000	1,103,000	64.4%
	企業債	(621,000)	(621,000)	(621,000)	(100.0%)
		1,714,000	1,103,000	1,103,000	64.4%
支出	資本的支出	(621,300)	(621,300)	(621,300)	(100.0%)
		5,675,972	3,272,962	4,843,994	85.3%
	建設改良費	(621,300)	(621,300)	(621,300)	(100.0%)
		2,486,975	1,653,007	1,654,998	66.5%
	企業債償還金	3,140,997	1,571,955	3,140,996	100.0%
	48,000	48,000	48,000	100.0%	

()は、令和元年度からの繰越予算(送水施設建設改良事業費及び固定資産改良費)に係るもので、外数です。

収入は、令和元年度及び令和2年度同意(許可)債の受入れです。

支出の主なものは、送水施設建設改良事業費及び企業債に係る3月定期償還分です。

4 資産、負債及び企業債の状況

下半期における資産、負債及び企業債の増減は、次のとおりです。

(1) 資 産

(単位：千円)

区 分	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A) + (B) - (C)
			増加額 (B)	減少額 (C)	
固 定 資 産	44,453,158	44,454,968	3,833,429	4,399,845	43,888,552
水道用水供給事業固定資産	42,758,504	42,760,314	2,185,940	2,633,968	42,312,286
固 定 資 産 仮 勘 定	1,694,655	1,694,654	1,647,489	1,765,877	1,576,266
流 動 資 産	8,899,038	8,850,364	7,932,311	8,531,934	8,250,741
計	53,352,196	53,305,332	11,765,740	12,931,779	52,139,293

固定資産の増加額の主なものは、送水管の二系統化事業等による建設改良費です。

固定資産の減少額の主なものは、減価償却による資産減耗分です。

流動資産の増減額の主なものは、預金及び未収金です。

(2) 負 債

(単位：千円)

区 分	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A) + (B) - (C)
			増加額 (B)	減少額 (C)	
固 定 負 債	30,759,999	30,759,999	1,753,572	3,270,523	29,243,049
流 動 負 債	4,318,312	2,051,227	9,423,755	6,686,044	4,788,938
繰 延 収 益	1,012,021	1,012,021	84,838	252,183	844,676
計	36,090,332	33,823,247	11,262,165	10,208,750	34,876,663

固定負債の増加額の主なものは、企業債の借入によるものです。

固定負債の減少額の主なものは、令和2年度償還予定企業債を流動負債に振り替えたものです。

流動負債の増加額の主なものは、未払金、未払費用及び企業債の令和2年度償還予定額です。

流動負債の減少額の主なものは、企業債の償還によるものです。

うち企業債

(単位：千円)

借 入 先	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A) + (B) - (C)
			増加額 (B)	減少額 (C)	
財 務 省	27,179,812	25,760,022	1,724,000	1,420,488	26,063,534
地方公共団体金融機構	1,612,125	1,462,874	0	151,468	1,311,407
計	28,791,937	27,222,896	1,724,000	1,571,956	27,374,941

増加額は、令和元年度及び令和2年度同意(許可)債受入分です。

減少額は、3月定期償還分です。

5 令和3年度予算の概要及び事業の経営方針

(1) 予算の概要

ア 収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入		支 出	
科 目	予 定 額	科 目	予 定 額
水道用水供給事業収益	5,896,920	水道用水供給事業費用	5,660,138
営 業 収 益	5,815,947	営 業 費 用	5,577,850
(うち給水収益)	5,815,841)	営 業 外 費 用	82,288
営 業 外 収 益	80,973		

イ 資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入		支 出	
科 目	予 定 額	科 目	予 定 額
資 本 的 収 入	2,020,000	資 本 的 支 出	6,884,816
企 業 債	2,020,000	建 設 改 良 費	3,597,928
		企 業 債 償 還 金	3,261,888
		他 会 計 借 入 金 償 還 金	25,000

金額は、消費税及び地方消費税を含んだ額となっています。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4,864,816千円は、過年度分損益勘定留保資金4,628,641千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額236,175千円で補てんするものとします。

(2) 令和3年度事業の経営方針

ア 給水対象市町

七尾市以南の9市4町

イ 一日最大給水量

243,860立方メートル

ウ 年間有収水量

53,405,340立方メートル

エ 給水単価

99円(1立方メートル当たり)